

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS



1997



UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS
1000 University of Chicago Press
Chicago, IL 60607-7099
Tel: 773-709-3200
Fax: 773-709-3300
www.uchicago.edu

Vertical text on the left margin, likely a page or chapter number.

Red rectangular stamp with illegible characters.

Purple rectangular stamp with illegible characters.

Vertical text column on the left side of the main frame.

Red rectangular stamp with illegible characters.

Purple rectangular stamp with illegible characters.

Red rectangular stamp with illegible characters.

Vertical text column on the right side of the main frame.

Vertical text between the two main columns.

Large blank area on the right page, possibly a flyleaf or a page with very faint text.





...

論

學

門

...

論

學

...

一、論學問之貴乎實踐。夫學問之貴乎實踐，此千古不易之理也。蓋學問之於人，猶如飲食之於身。飲食不節，則身必病；學問不實，則心必亂。故君子必先其心，而後求其學。心既正，則學自進。學既進，則行自修。行既修，則德自成。此學問之正軌也。

二、論讀書之法。讀書之法，貴在專心。若心不專，則書不讀。書不讀，則理不達。理不達，則事不成。故君子必先定其志，而後讀書。志定則心專，心專則理達，理達則事成。此讀書之要領也。

三、論處世之貴乎謙虛。夫處世之貴乎謙虛，此千古不易之理也。蓋謙虛則人敬，人敬則事成。故君子必先其德，而後處世。德既厚，則人自敬。人自敬，則事自成。此處世之正軌也。

四、論養生之貴乎節制。夫養生之貴乎節制，此千古不易之理也。蓋節制則身健，身健則壽長。故君子必先其節，而後養生。節既嚴，則身自健。身自健，則壽自長。此養生之要領也。

論學問之貴乎實踐

夫學問之於人，猶如飲食之於身。飲食不節，則身必病；學問不實，則心必亂。故君子必先其心，而後求其學。心既正，則學自進。學既進，則行自修。行既修，則德自成。此學問之正軌也。

一、論學問之貴乎實踐。夫學問之貴乎實踐，此千古不易之理也。蓋學問之於人，猶如飲食之於身。飲食不節，則身必病；學問不實，則心必亂。故君子必先其心，而後求其學。心既正，則學自進。學既進，則行自修。行既修，則德自成。此學問之正軌也。

二、論讀書之法。讀書之法，貴在專心。若心不專，則書不讀。書不讀，則理不達。理不達，則事不成。故君子必先定其志，而後讀書。志定則心專，心專則理達，理達則事成。此讀書之要領也。

三、論處世之貴乎謙虛。夫處世之貴乎謙虛，此千古不易之理也。蓋謙虛則人敬，人敬則事成。故君子必先其德，而後處世。德既厚，則人自敬。人自敬，則事自成。此處世之正軌也。

四、論養生之貴乎節制。夫養生之貴乎節制，此千古不易之理也。蓋節制則身健，身健則壽長。故君子必先其節，而後養生。節既嚴，則身自健。身自健，則壽自長。此養生之要領也。

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

禮記

卷之四
四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

... 之 功 用 甚 大 矣 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣 故 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣

... 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣 故 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣

... 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣 故 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣

... 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣 故 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 民 不 歸 民 不 歸 則 國 不 立 國 不 立 則 君 不 存 君 不 存 則 國 亡 矣

Main body of text on the top page, organized into columns with vertical lines.

Main body of text on the bottom page, organized into columns with vertical lines.

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一、... 二、... 三、... 四、... 五、...

...

...

...

...

... 一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

...

... 一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

目錄

一	論	一
二	論	二
三	論	三
四	論	四
五	論	五
六	論	六
七	論	七
八	論	八
九	論	九
十	論	十
十一	論	十一
十二	論	十二
十三	論	十三
十四	論	十四
十五	論	十五
十六	論	十六
十七	論	十七
十八	論	十八
十九	論	十九
二十	論	二十
二十一	論	二十一
二十二	論	二十二
二十三	論	二十三
二十四	論	二十四
二十五	論	二十五
二十六	論	二十六
二十七	論	二十七
二十八	論	二十八
二十九	論	二十九
三十	論	三十
三十一	論	三十一
三十二	論	三十二
三十三	論	三十三
三十四	論	三十四
三十五	論	三十五
三十六	論	三十六
三十七	論	三十七
三十八	論	三十八
三十九	論	三十九
四十	論	四十
四十一	論	四十一
四十二	論	四十二
四十三	論	四十三
四十四	論	四十四
四十五	論	四十五
四十六	論	四十六
四十七	論	四十七
四十八	論	四十八
四十九	論	四十九
五十	論	五十

一	論	一
二	論	二
三	論	三
四	論	四
五	論	五
六	論	六
七	論	七
八	論	八
九	論	九
十	論	十
十一	論	十一
十二	論	十二
十三	論	十三
十四	論	十四
十五	論	十五
十六	論	十六
十七	論	十七
十八	論	十八
十九	論	十九
二十	論	二十
二十一	論	二十一
二十二	論	二十二
二十三	論	二十三
二十四	論	二十四
二十五	論	二十五
二十六	論	二十六
二十七	論	二十七
二十八	論	二十八
二十九	論	二十九
三十	論	三十
三十一	論	三十一
三十二	論	三十二
三十三	論	三十三
三十四	論	三十四
三十五	論	三十五
三十六	論	三十六
三十七	論	三十七
三十八	論	三十八
三十九	論	三十九
四十	論	四十
四十一	論	四十一
四十二	論	四十二
四十三	論	四十三
四十四	論	四十四
四十五	論	四十五
四十六	論	四十六
四十七	論	四十七
四十八	論	四十八
四十九	論	四十九
五十	論	五十

一
二
三

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一
二
三
四
五

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、論... 二、論... 三、論...

一、論... 二、論... 三、論...

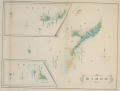
論

一、論... 二、論... 三、論...

論

一、論... 二、論... 三、論...

一、論... 二、論... 三、論...



THE PACIFIC OCEAN
AS SHOWN BY THE
DISCOVERIES OF
THE SPANISH VOYAGERS
IN THE SEVENTEENTH
CENTURY

卷之二

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

卷之三

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保障國民之權利，而維護國家之利益。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。

（二） 法律之制定，必須經過嚴密之程序。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

（三） 法律之制定，必須經過國民之同意。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

（四） 法律之制定，必須經過國民之同意。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

（五） 法律之制定，必須經過國民之同意。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保障國民之權利，而維護國家之利益。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。

（二） 法律之制定，必須經過嚴密之程序。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

（三） 法律之制定，必須經過國民之同意。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

（四） 法律之制定，必須經過國民之同意。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

（五） 法律之制定，必須經過國民之同意。若法律之制定，僅由少數人之意志為依歸，則法律之權威，必將受損。

此山在... 山頂... 山麓... 山腰... 山脚... 山脊... 山坳... 山溝... 山澗... 山溪... 山泉... 山石... 山木... 山草... 山花... 山果... 山禽... 山獸... 山蟲... 山魚... 山雲... 山霧... 山雨... 山雪... 山風... 山雷... 山電... 山火... 山崩... 山裂... 山塌... 山倒... 山崩... 山裂... 山塌... 山倒...



此山在... 山頂... 山麓... 山腰... 山脚... 山脊... 山坳... 山溝... 山澗... 山溪... 山泉... 山石... 山木... 山草... 山花... 山果... 山禽... 山獸... 山蟲... 山魚... 山雲... 山霧... 山雨... 山雪... 山風... 山雷... 山電... 山火... 山崩... 山裂... 山塌... 山倒...

Vertical text on the left margin, likely a page number or title.

Main body of text on the left page, consisting of several columns of vertical Chinese characters.

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

Vertical text on the right margin, likely a page number or title.

東亞地圖



東亞地圖



Year	Month	Day	Event	Page
1880	Jan	1
1880	Jan	2
1880	Jan	3
1880	Jan	4
1880	Jan	5
1880	Jan	6
1880	Jan	7
1880	Jan	8
1880	Jan	9
1880	Jan	10
1880	Jan	11
1880	Jan	12
1880	Jan	13
1880	Jan	14
1880	Jan	15
1880	Jan	16
1880	Jan	17
1880	Jan	18
1880	Jan	19
1880	Jan	20
1880	Jan	21
1880	Jan	22
1880	Jan	23
1880	Jan	24
1880	Jan	25
1880	Jan	26
1880	Jan	27
1880	Jan	28
1880	Jan	29
1880	Jan	30
1880	Jan	31

此書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。

其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。

其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。

其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。

其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。

其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。

其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。

其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。

其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。其書之體裁，與前書無異。其書之內容，則多屬雜著。

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、論... 二、論... 三、論... 四、論... 五、論... 六、論... 七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、關於「經濟」之定義。經濟者，指人類利用其力量，以謀生活之謂也。其範圍包括生產、分配、消費等。經濟之發展，與社會之進步，有密切之關係。故研究經濟，實為研究社會之基礎。

二、關於「社會」之定義。社會者，指人類共同生活之團體也。其範圍包括個人、家庭、團體、國家等。社會之進步，與經濟之發展，有密切之關係。故研究社會，實為研究經濟之基礎。

三、關於「政治」之定義。政治者，指人類共同生活之組織也。其範圍包括個人、家庭、團體、國家等。政治之進步，與經濟之發展，有密切之關係。故研究政治，實為研究經濟之基礎。

四、關於「法律」之定義。法律者，指人類共同生活之規範也。其範圍包括個人、家庭、團體、國家等。法律之進步，與經濟之發展，有密切之關係。故研究法律，實為研究經濟之基礎。

經濟
社會

夫學之於人，猶水之於木也。

木無水則枯，人無學則愚。愚則不能察理，不能察理則不能為君子。

故君子必先其其德，其次其學。

德者本也，學者末也。本末有序，則學有歸宿。若本末倒置，則學無裨益。

夫學之於人，猶水之於木也。木無水則枯，人無學則愚。愚則不能察理，不能察理則不能為君子。故君子必先其其德，其次其學。德者本也，學者末也。本末有序，則學有歸宿。若本末倒置，則學無裨益。

論學

夫學之於人，猶水之於木也。

木無水則枯，人無學則愚。愚則不能察理，不能察理則不能為君子。

故君子必先其其德，其次其學。

德者本也，學者末也。本末有序，則學有歸宿。若本末倒置，則學無裨益。

夫學之於人，猶水之於木也。木無水則枯，人無學則愚。愚則不能察理，不能察理則不能為君子。故君子必先其其德，其次其學。德者本也，學者末也。本末有序，則學有歸宿。若本末倒置，則學無裨益。

論學

論學

論學

此等之說，固非無因。然其所以為非者，則由於其說之不合於理。夫理者，事物之當然者也。理之所在，不容或違。若夫此等之說，則以人為之，而非天之所為。故其說之不合於理，亦理所當然。

夫理之所在，不容或違。若夫此等之說，則以人為之，而非天之所為。故其說之不合於理，亦理所當然。

夫理之所在，不容或違。若夫此等之說，則以人為之，而非天之所為。故其說之不合於理，亦理所當然。

論理

夫理之所在，不容或違。若夫此等之說，則以人為之，而非天之所為。故其說之不合於理，亦理所當然。

夫理之所在，不容或違。若夫此等之說，則以人為之，而非天之所為。故其說之不合於理，亦理所當然。

夫理之所在，不容或違。若夫此等之說，則以人為之，而非天之所為。故其說之不合於理，亦理所當然。

論理

論理

禮記卷之四 禮記

禮記

禮記

禮記卷之四 禮記

禮記卷之四 禮記

禮記

禮記

禮記

禮記卷之四 禮記

禮記

禮記

禮記

